# 対応

ロボット農機を複数台連続稼動させることで、作業時間を短縮

## 複数台の連続稼動

実際の実証模様

## 複数の作業を連続して1度に実施

これまで

実証

Day1 連続作業

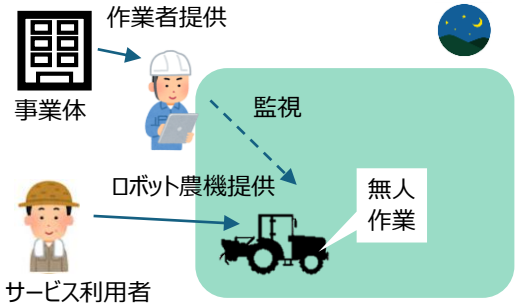
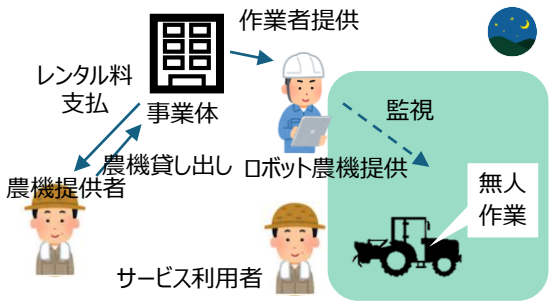
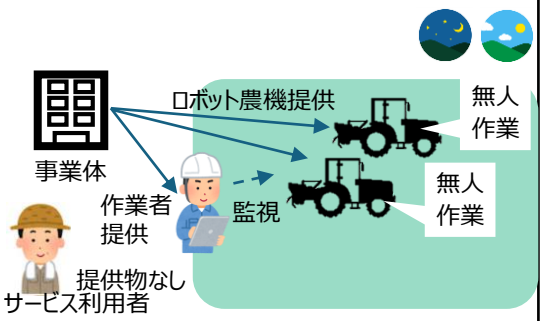
浮いた時間・稼動を
別の圃場に投入できる

農家の耕作面積限界を克服

社会実装に向け農業者同士の計画的な農機の貸し借りやシェアリングの仕組みが必要

# 対応

## 事業者が仲介して稼働率を向上させる手法

| | 1-1 農家所有農機による作業請負 | 1-2 農家所有農機による作業請負 | 2-1、2 事業体所有農機による作業請負 |
|---|---|---|---|
| 対応ニーズ | 個人所有農機の空き時間有効活用 | 農地拡大・繋忙期対応のための作業効率化 | 農地拡大・繋忙期対応のための作業効率化 |
| 請負サービスの内容 | 依頼者のロボット農機、作業機を使ってレベル２で農機作業請負実施(主に夜間作業を想定)<br>  | 事業体のロボット農機、作業機を使ってレベル２農機2台で作業請負実施(日夜両方の作業を想定)<br>  | 事業体のロボット農機、作業機を使ってレベル２農機2台で作業請負実施(日夜両方の作業を想定)<br>  |
| 対象作業 | 耕起、砕土、整地 | | |
| 対象ユーザ | ロボット農機所有者 | ロボット農機所有者周辺農家 | 農家 |
| 自動化レベル | レベル２ | レベル２ | レベル２ |

# スマート農業技術導入による効果試算

## スマート農業技術活用産地支援事業
## 支援の概要

令和元年度　令和2年度　令和3年度　令和4年度　令和5年度
労働力不足の解消に向けたスマート農業実証

### スマート農業技術導入手引き書

本事業では、普及指導員や営農指導員及び先進的な農業者が利用することを想定し、スマート農業産地の形成につながることに留意した、スマート農業技術の活用する際に使用できる手引き書(スマート農業技術導入手引き書)を作成します。この手引き書は、産地がスマート農業技術を効果的に導入・活用する際の検討に必要となる営農管理・経営データ等の種類やその収集・分析方法について検討するとともに、データに基づくスマート農業技術の利活用や経営改善の進め方とその効果を体系的に整理しています。

ダウンロードする(された)方へ:アンケート(全5問、選択式、個人情報の入力不要)へのご協力をお願いします(任意)。
アンケートフォームはこちら

**※手引き書のアップデートについて**

手引き書のアップデートは スマート農業推進協議会のメーリングリストでお知らせするとともに、このページにおいてup!等の表示でお知らせします。
スマート農業推進協議会の入会はこちらから

**【水田作】**

| 活用産地支援の項目 注) | 手引き書(閲覧・ダウンロード) | 実施グループ名 | 手引き書が扱う品目等 | 概要へのリンク |
|---|---|---|---|---|
| 技術導入前コンサル型 | スマート農機を適用する際の「農家収益指標」活用のための手引き(準備中) | 栗山町スマート農業技術活用検討コンソーシアム | 水田作、畑作、露地野菜等 | 援A01 |

## 一般財団法人栗山町農業振興公社(北海道栗山町)　【援A01】

品目: 水田作、畑作、露地野菜 | 取組タイプ: 導入技術活用型

| | |
|---|---|
| スマートサポートチーム構成員 | 株式会社スマートリンク北海道 |
| 活用支援を受ける産地構成員 | 一般財団法人栗山町農業振興公社<br>そらち南農業協同組合 |

### ■ 取組概要

**① スマート農業技術適用による想定効果の試算**

(一財)栗山町農業振興公社が整理した栽培体系別農家収益指標に対して、スマートサポートチームが有する知見にて、作業体系別にスマート農業技術導入による効果(労働費削減、資材費削減、収益・品質向上等)及び機材導入費等を試算の上、新たな指標を作成する。

**② スマート農業技術導入に対する留意事項の整理**

スマート農業技術、特に労働力不足解消に期待されるロボット農機、UAV、水管理に対して、必要インフラ、利用時もしくは利用前に必要な申請、地域内調整等について、導入時の留意事項を手引き書に記載するとともに指導を行う。

**③ 手引き書の作成**

上記①、②をもとに、スマート農業技術適用による具体的な効果を明確にするとともに、経営体個人での試算や他地域での活用も可能となるよう、計算に係る手順や必要となる情報を明示するものとする。

**活用支援を受ける産地の思い**

栗山町の生産体系に準じた具体的な効果が示されていなかったため、スマート農業技術導入が進まなかった。栽培体系ごとに農家収益指標を明示することで、現地での課題解決に向けて技術導入を促進したい。

**スマートサポートチームによる活用支援の内容**

スマート農業技術導入による労働コスト、資材削減効果及び導入に係る収益変化の試算を行うと共に、導入時の留意事項にも配慮した手引き書の作成、現地指導を行う。

**期待される効果**

- スマート農業技術導入による労働コスト、資材削減効果及び導入に係る収益変化の試算を行うと共に、導入時の留意事項にも配慮した手引き書の作成、現地指導を行う。
- 栗山町内で展開されている経営体系ごとでの汎用的な農家収益指標の明示。
- 他地域での技術導入時の収益変化試算方法の明確化

ご清聴ありがとうございました。